

## 東秩父村地域おこし協力隊

「空き家を生かす。村の可能性を広げる。」



皆さんは「地域おこし協力隊」を知っていますか。都市部から過疎地域へ移住し、地域活性化のために活動している人たちのことです。

東秩父村にもすばらしい伝統文化や自然環境などを生かしながら、村の抱える課題を捉え課題解決に取り組む方がいます。

この度、4月より麻生義彰あそうよしあきさんに地域おこし協力隊員として活動していただくこととなりました。本特集では、麻生さんの「空き家を生かす。村の可能性を広げる。」取組についてご紹介します。

## 心の原風景が導いた今

「私の祖父母と母が東秩父村出身でした。幼い頃は、長期の休みになると村へ遊びに来ることも多く、村は私にとって思い入れの深い場所です。しかし、幼い頃村へ遊びに来ていた時は、村の人口が5000人超ほどもいましたが、現在では2000人を切る勢いになっていることを知り危機感を覚えました。」そう話す麻生さんは、東京都出身。都内で不動産関係の仕事をしていました。

「私は3人兄弟で、偶然にも兄弟全員が不動産関係の仕事を営んでいました。弟が空き家アドバイザー協議会に加入し、一緒にやらないかと誘われたことで東京都内にて協議会の一員として活動をしていました。そこから空き家を利活用してまちおこしができることを知り、活動するなら思い入れ深い東秩父村でという想いが出てきました。」

昨年、東秩父村は空き家アドバイザー協議会と空き家等の利活用促進に係る包括連携に関する協定を締結しました。麻生さんには、協定を締結した頃から本格的に村で空き家等の利活用の相談や情報発信を活発に行っていただき、そこから、地域おこし協力隊として活動していただけないかと声をかけ、この4月より幅広く活動していただいています。